

## 復旧・復興の年に！

Eメール：[green-sakura@h8.dion.ne.jp](mailto:green-sakura@h8.dion.ne.jp)

ブログ：がまだす通信 で検索

新年あけましておめでとうございませう。

昨年は7月に豪雨が町内を襲い、甚大な被害が発生しました。1日も早く、復旧・復興を図るべく対策を講じていかなければなりません。

毎年のように異常気象による被害が発生しています。

まず、人命尊重を第一に町政運営がなされるように提言をおこなっていききたいと思ひます。

そして、少子高齢化がより一層進む中、一人ひとりが主人公として「生きがいのあるきやま」を目指して頑張ります。



### 12月定例議会の特徴的議案

○課設置条例の一部改正について

4月より、健康福祉課を健康増進課と福祉課に分ける健康増進課で、子育て世代包括支援センターを設置し、子育て支援業務のワンストップ化を図る

○町民会館及び体育施設の指定管理者の指定について

今年4月から5年間、現行の指定管理者に引き続き指定する

○財産（土地）の取得について

新町立保育園を建設するために、5,998㎡を約1億2100万円取得する、場所は役場西側（土地開発公社が先行取得）

### 一般会計補正予算（追加予算も含む）

補正額 2億 2131万円

補正後の総額 98億 2755万円

#### <主な事業予算>

- 小・中学校の特別教室にエアコン設置 7502万円  
普通教室は設置済、全ての教室にエアコン設置
- 運転免許証の自主返納者に支援  
コミュニティバス運賃割引・・通常価格の半額  
タクシー運賃助成・・5年間、毎年6,000円分  
電動カート購入費助成・・上限5万円  
(詳しくは、定住促進課、建設課まで)
- 小・中学生への自転車用ヘルメット購入助成  
小学生・・低学・高学年毎に1回、上限1500円  
平成30年年4月に遡り、助成  
中学生・・3年間で1回、上限1500円  
(詳しくは教育学習課まで)
- 基肄城跡災害復旧費 925万円  
水門周辺400万円、きざん山頂部410万円

問：基肄城跡復興ボランティアを取組めないか？

答：安全が確認できれば、検討したい。

重松 一徳の一般質問  
基山町のシンボル基山（きざん）も7月の豪雨で甚大な被災を被った。どのようにして復旧・復興を行っていくのか、を質した。

問：基肄城跡の災害状況は？

答：基肄城内中央部が長さ500mにわたたり、大規模な土砂崩れを起こした。また、きざん山頂部や管理道路の法面、散策路も崩壊し、水門周辺も瓦礫や流木、土砂が堆積している。

問：復旧にむけて、国や佐賀県との協議は進んでいるのか？

答：災害復旧の内容や国費・県費の補助、工事に伴う事務手続きの方法などを協議している。

問：佐賀県に災害復旧に伴う職員  
の派遣要請は出来ないか？

答：要請は行ったが、職員派遣は難しいとの回答だった。

提案：議会としても、佐賀県に職員派遣要請を提案する。議長で取



7月豪雨で被災した基肄城跡中央部  
瓦礫、流木、土砂が堆積している。  
復旧、復興に最低でも3年かかる。

扱いを検討してほしい。

問：復旧・復興までの工程は？

答：3年程度かけて、以前の状態に戻す計画を予定している。佐賀県の治山ダム事業と並行して、平成30年度にきざん山頂の崩落部の復旧と水門周辺のがれき撤去を行い、平成31年度に管理道路と散策路の土砂撤去・法面復旧、32年度に水門周辺の環境整備を行う予定だ。また、随時遺構の有無の確認や発掘調査も実施する。

問：毎年のように豪雨が発生してい

る。一刻も早く丸林地区の住民が安心できるように、水門下部の被災した農地を町が購入し、治山ダムの擁壁や駐車場の整備、観光的なガイドダンス施設を検討できないか？

答：河川上流には他に危険な箇所もあり、現在は考えていないが、担当課では検討に値すると思う。

問：きざん山頂部の崩落個所の修復に、多くの町民が参加して行う基肄城跡復興ボランティアの取組みを行い、基山町のシンボルのきざん復興が出来ないか？

答：きざん山頂部に流失した分の土をあげる道がないのでありがたい提案だ。まずは安全対策工事を行い、安全が確認できれば検討したい。

提案：過去に、子ども達や町民が少しずつ土を運び施設を建設したという歴史もある。もう一度、みんなで復興しよう。

問：コンパクトな町づくりは線引きと矛盾しないか？

答：市街化区域の拡大も必要で、矛盾しない。

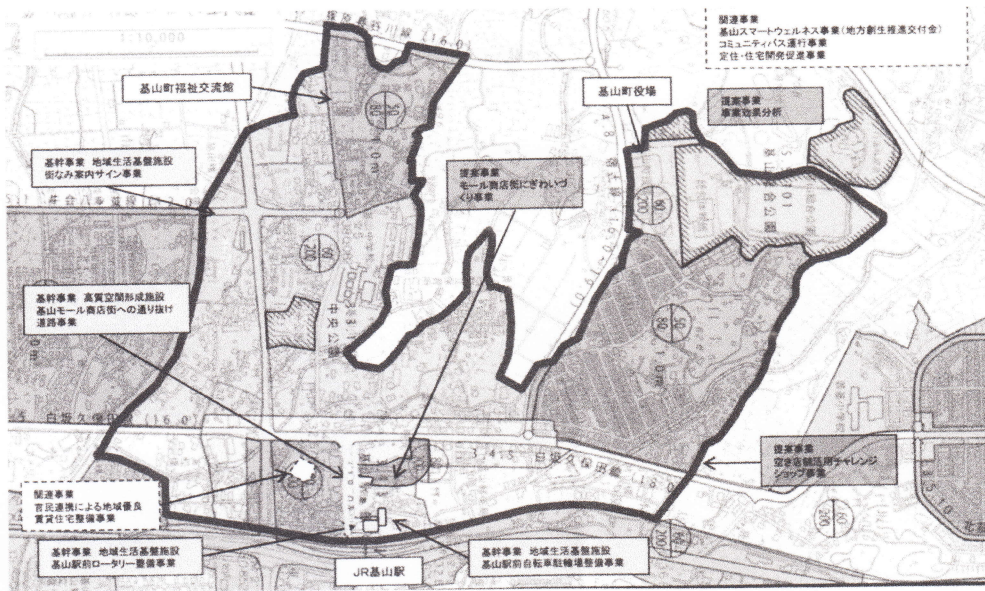
重松 一徳の一般質問  
コンパクトな町づくりが進められている。中心市街地以外の開発や市街化調整区域はどのようなものか、を質した。

問：106.9haのコンパクトな町づくりは町の発展にどのように寄与するの？

答：モデル都市として選定された自治体は、平成30年度から32年度まで都市再生整備事業の予算について重点配分を受ける。この支援により基山駅前整備事業や町店街の賑わい創出事業、健康づくり事業など、定住人口の増、空き店舗の解消、モール商店街の客増の効果が期待できる。

問：コンパクトな町づくりは、人口減少に対応する施策で都市計画区域の区域区分（線引き）の見直しと矛盾しないか？

答：人口増を目指す上で、市街化区域の拡大も必要と考え矛盾しない。



JR基山駅西側106.9ha（黒枠内）に活性化事業が展開される。駅から半径1km以内の農地約23ha、開発は殆ど進んでいない。

問：コンパクトシティの選定は、中山間地や7区の人口減少に拍車をかけるのでは？

答：コンパクトシティ事業の実施により、中心市街地を核とした町全体の経済効果が表れ、人口増になると考える。

問：7区の工業団地開発のために市街化区域の拡大を今後どのように進めていくのか？

答：線引きの撤廃にむけて佐賀県知事と何度も話し合いをした。鳥栖・基山都市計画なので鳥栖市は線引き制度を守るとの立場なので、今後、市街化区域の拡大を求めて再度佐賀県と交渉を進める。

提案：基山町の交通利便性を発展に活かし、町の将来像を明確にして欲しい。

問：基山駅から半径1km以内に農地が23haある。市街化区域への編入は出来るのか？

答：線引きそのものが何故、このようになっていくのか不明だ。すぐに対処していく。

## 農産物加工場建設、白紙に！



昭和62年建設  
老朽化した農産物加工場

2区小松地区にある農産物加工場が老朽化し、新たに園部地区に建設予定だった農産物加工場建設が白紙になった。

指定管理者として事業を受けている農事法人「ちぎりの里」会員が高齢を理由に、継続運営は出来ない」と最終判断。

これを受けて、町は九州農政局と国の交付金活用による計画を取り下げた。

平成28年度から「新たな農産物加工場建設ありき」で十分な協議がなされていないのが原因。

今後は行政主導ではなく民間活力による計画の練り直しを求めている。

### 小・中学校、特別教室にエアコン設置！

#### 「何故、事前に説明をしないのか？」

12月議会の途中で、「国からの補助金が付いたから」との理由で、急ぎよ、小・中学校の特別教室にエアコン設置の補正予算が上程された。

夏の猛暑等を考慮すれば、反対する理由はない。しかし、普通教室には平成29年度に全教室エアコンが設置されており、PTAの地区懇談会や町長との全区意見交換会でも「特別教室へのエアコン設置」要望はなかった。

国会での論議は「全国でまだ17万の普通教室にエアコンが設置されておらず、早急に設置するための補正予算」が成立した。

また、災害時の避難場所になる体育館への設置の要望もあっていた。

町は昨年8月時点で、特別教室へのエアコン設置について国へ補助金の要望を出した、と言われているが、議会への説明はあつてない。

今後、「エアコン設置に伴う電気代の国庫補助」を国に求めていかなければならない。

様々な事業が国からの補助金が付いたから、との理由で実施されているが、事前に事業計画や目標値の説明をするように求めていく。

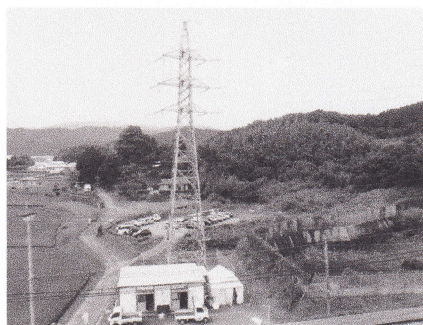
### 編集後記

新きやま保育園建設にむけての一連の議案はすべて可決した。用地取得と議会の議決、建設関連予算の可決。

私は役場西側用地が、本当に子供たちが長い時間を過ごす保育園として適当な場所なのか？と質し、反対した。

高圧電線による電磁波問題、調整池の蚊の発生問題、すり鉢状の地形からの湿気の問題。

来年4月開園にむけて、造成工事や建設工事が始まるが、「園児の健康」を第一に注視していきたい。



役場4階から見た  
新きやま保育園建設予定地